富山市「アーバンスポーツをつなぐ、むすぶコンパクトシティ富山」推進計画

スポまち！表彰2026
⑬富山県富山市

＜目標＞　　計画期間：～令和１４年３月３１日

①**中心商業地及び富山駅周辺地区の歩行者数**：歩行者数を基準値64,094人／日（R7）を66,360人／日（R13）へ拡大。
②**「とほ活」ユーザー数と歩行量**：市の人口の約10%にあたる4万人を達成。とほ活ユーザー平均歩行量を基準値6,422歩（R7）を7,100歩（R13）へ拡大。
③**スポーツインバウンドと空き施設の民間活用**：国際規格リンクを活用した県外合宿を年10団体以上誘致。周辺空き施設の民間活用。
④**スポーツ施設の認知度向上**：市内の多種多様なスポーツ施設の認知度向上

＜ＰＲポイント＞

①**LRT×多様なスポーツ施設**：路面電車をスポーツの架け橋として、駅北（スケボー3x3）や南側の商店街（アイススケートリンク）などの沿線のスポーツ拠点をつなぐ。
②**デジタルスタンプラリー**：「とほ活」のスタンプラリー等のポイントインセンティブを活用し全世代の能動的な運動習慣を定着することで、平均歩行量を増加。
③**データ利活用**：アプリのアンケート機能や移動ログから周遊・健康増進を効果分析。



＜現状・課題＞

①**回遊不足の顕在化**：富山駅の北側では、「YKK APアリーナ」や「NiX アーバンスケートパーク」など、若年層やアスリートが集うアーバンスポーツの先進拠点として発展している。一方で、富山駅の強力な集客力を中心商店街エリアへ十分に波及できていない。
②**商業の課題と冬期の身体活動低下**：中心商店街エリアの空き店舗数は依然として横ばい状況であり、活性化に向けた強力な集客コンテンツが必要。また、冬期の積雪などにより外出機会が減少し、屋外での身体活動の機会が確保しにくい。

＜総合的な取組内容＞

LRTシステム（路面電車）及び市の人口の約10%（4万人）の参画を目指す健康アプリ**「とほ活」**を活用し、路面電車沿線のスポーツ拠点をブリッジさせ、**データ駆動型のスポーツエリアを形成する。**ひいては**健康づくりとまちづくりが融合した持続可能なまちを目指す。**

① 国際規格・通年開館 アイススケートリンク整備支援事業

中心商店街のアーケードにおける通年開館の**「アイススケートリンク（アイスホッケーの国際規格）」**整備を支援。
通年の全国強化合宿の誘致や幅広い年代の来街者の参加が期待できるものであることから、周辺店舗の**消費促進**と**宿泊者の増加が期待できる。**



② 南北アーバンスポーツ連携事業

駅周辺の強力な集客力を中心商店街エリアへと回遊させる連携事業の実施
・体験型クロストレーニング：
「スケボー＆アイススケート」による足のエッジコントロールや「3x3バスケ＆アイスホッケー」による判断力、視野拡大など、マルチトレーニング企画の開催。
・ストリートカルチャー創出：
リンクにDJブースを設置、BGMやライトアップ演出。



③ とほ活アプリによる市内縦横断デジタルスタンプラリー・効果分析事業

歩くことや公共交通の利用、イベント参加等でポイントが貯まり、豪華景品に抽選応募できるアプリ**「とほ活」**を活用し、路面電車沿線の各スポーツ拠点のデジタルスタンプラリーを実施。
また、ユーザーへのデジタルアンケートやスタンプラリーの移動情報により、**経済波及・健康増進効果を分析。**



【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞

《歩くライフスタイル戦略会議（富山市）》
富山市役所内において、部局分野横断的な組織を形成し、全市的な歩くライフスタイルの推進を総合的に連携・調整

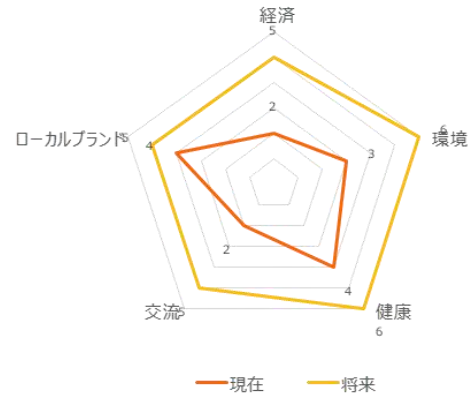
まちづくり推進課
全体調整・連絡・連携担当
「とほ活」関連事業の総括

＜保健、福祉部局＞ 健康
＜市民部局・教育委員会など＞ スポーツ
＜都市部局・商工部局など＞ まち

協働・連携

《民間事業者・教育機関ほか》
・連携イベントやアプリの利用促進などの普及啓発に関する連携
・高校や大学などの教育機関への講座や連携事業の実施　　など

＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号
富山市 活力都市創造部 まちづくり推進課
TEL　076-443-2054